

緑のセンターだより

NO. 148 平成 23 年 7 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

アサギリソウ

キク科 ヨモギ属
Artemisia schmidtiana

アサギリソウは別名ハクサンヨモギともいわれ、本州中部以北(亜高山帯～高山帯)、北海道、樺太、南千島などの岩場や砂礫地に生える多年草です。北海道では山の岩場のほか、海岸付近の岩場、砂礫地でも見られ、周りにさえぎる物が無く、冬は吹雪がまともに吹きつけ大変環境の厳しいところで見られます。

株全体が銀白色の絹毛に覆われ、茎は群がり、上部は著しく分枝します。高さ 15～35cm で、葉は 2 回羽状に細裂し、終裂片は幅 0.5～1 mm です。黄色の花が 8～10 月に咲き、頭花は直径 3～4 mm で数個～10 数個が細い円錐花序に下を向いてきます。

アサギリソウの花は地味で目立ちませんが、草姿にさわやかな存在感があります。和名は早朝の霧で植物に露がついたように見えることから「アサギリソウ」と名付けられました。「雪の結晶のように」と表現されていることもあります。

同じヨモギ属には草餅に利用するヨモギ (*A.princeps*)、香辛料となるエストラゴン (*A.dracunculus*) などのように食用や薬用として使われるものもありますが、食用にならないものも多くあり、それらの中には花壇やロックガーデンに植えられる植物もあります。

中でもアサギリソウは葉色の美しさから花壇材料としてよく用いられます。他にも銀白色の植物は多くありますが、固い感じの植物が多く、これほど柔らかさを感じるものは少ないでしょう。植え付けて 3～4 年すると、株が淡い銀緑色の半球ボールになり、その柔らかい感じが見る者を「ほっ！」とした思いにさせてくれます。

花言葉は「光、脚光、喝采、慕う心、復讐、満足」ですが、その中の「光、脚光、喝采、復讐」は印象と違うような気がします。どちらかというと舞台では脇役に徹し、主役より目立たない演技でしっかりと支え舞台が終わると、何か心に残っている感じの植物です。

痩せ地でも育ちますが、水はけが良い土を好み、やや酸性に弱いので、酸度矯正 (pH6.0 程度) を行う必要があります。

(M.M.)



7月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽に問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 (月曜が祝日の場合は受付し、翌平日休み)
 ☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

◆バラの花がら摘みと夏剪定

7月は庭植えのバラも一番花の盛りです。咲き終わった順に花がらを摘みましょう。一番花が全部終わった枝は夏剪定をすると、約1ヶ月で2番花を咲かせることができます。

作業の手順

花がら摘みは花弁が萎れ始めたら早めに行いましょう。

- 1) 数輪が房状に咲く種類は、上部の先に咲く順に摘みとる。
- 2) 茎頂に1輪ずつ咲く種類はすぐ下の節に花芽が見えたら、先に咲いた花がらだけを摘み取る。(Cut①)
- 3) 1番花の全部が咲き終えたら、5枚葉の上で剪定する。 (Cut②-a)

夏剪定の要領

夏剪定は普通5枚葉の二段目の位置で切り取ります (Cut②-a)。若い株や樹勢の弱い株ではできるだけ葉数を残したいので、浅めの剪定をします(3枚葉で切ることも可、かなり弱っている場合は花がら摘みだけでも良い) (Cut②-b)。

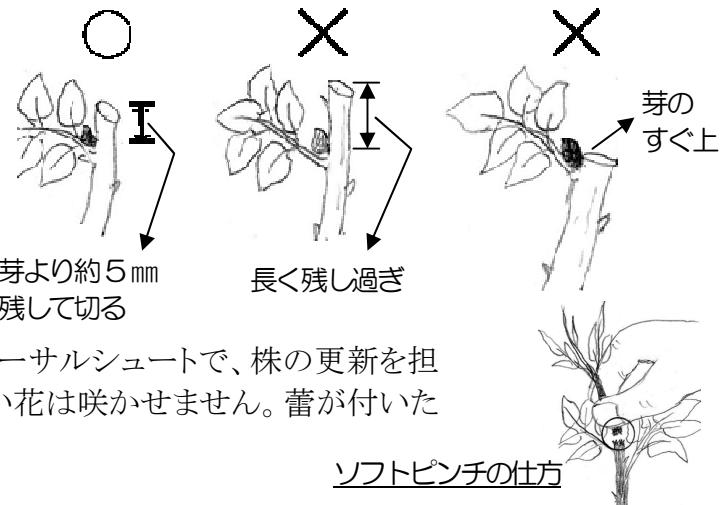
樹勢旺盛な株では5枚葉の位置より数段深く切り取ります。浅い剪定では芽出しが早く次の花は2~3週間で見られますが、やや貧弱です。一方、深い剪定では、次の開花は1ヶ月後と遅くなりますが、1番花に劣らない見事な花が見られます。

剪定の位置(深さ)

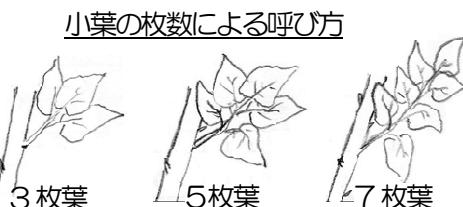
芽の上を長く残したり、芽のすぐ上で切ると、病害の原因になったり乾燥で芽が枯死したりします。節(芽の位置)から5mmくらい上で切るのが良いでしょう。

シートの剪定

地際近くから発生する太くて勢いの良い芽はベーサルシートで、株の更新を担う大切な枝です。旺盛な生育をしますがあまり良い花は咲かせません。蕾が付いたらすぐソフトピンチをしておきましょう。



ソフトピンチの仕方



※ 1枚の葉鞘につく小葉の枚数で3枚葉、5枚葉といいます。7枚葉はノバラや原種バラに多く、野生種などは9枚葉もあります。品種の地際から出る多小葉の枝は台木のものかもしれません。早々に搔き取って整理しましょう。

◆ウリ類の授粉

カボチャ

カボチャの雌花は親づるの7~8節より着き、以降親、子づるともに4~5節おきに着生します。定植後30日頃に開花が始まります。雄花1個で3~4花に授粉します。早朝の5時~8時ころまでに終わるのが理想です。着果節位7~8節とし草勢の弱い時は10節位まで上げます。授粉の時間帯が昆虫の活動前なので人工授粉が必要です。

メロン

メロンは両性花が多いので、天候の良い時は昆虫の飛来や、そよ風の振動で授粉されます。気温が20~21℃の時がベストで、両性花の花粉が出ておれば乾いた柔らかい筆で軽く撫でても有効です。花粉が出ていない時は雄花を使って授粉します。ネットメロンでは、子づるの8~12節の間に1つに2果を着果させます。マクワ型では子づるの6~8節から出る孫づるに1つに3~4果を着けます。

スイカ

天候の良い時は昆虫による授粉で十分ですが、条件の悪い時には、人工授粉が必要で、晴天時は7~9時、曇天時では9~11時までに花粉のでかたを確認しながら行います。時刻が遅くなると花粉が少くなり受精率が低下します。親づるは18節前後、子づるは15節前後を目標に着果させます。

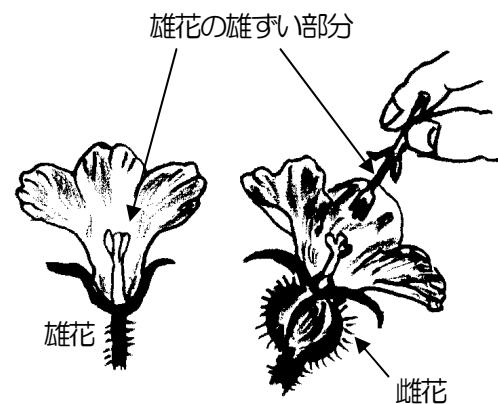
キュウリ

キュウリは単為結果(受粉しなくても果実を形成する)するので人工授粉の必要はありません。5節までは着果させません。

ユウガオ

ユウガオの花は、夕方から夜に開花し朝方には萎れます。授粉はヤガなどによって行われます。虫の数が少ないので人工授粉は有効です。

※人工授粉は、キュウリを除き花の大きさは異なりますが、雄花の花弁を除いて雄ずいを出し、雌花の柱頭に軽くなすりつけばOKです。



園芸用土とその使い方 ーその1ー

園芸用として売られている用土にはいくつもの種類があります。その用土がどんな性質なのか、特性を知ることで、それぞれの植物に適した培養土を作ることができます。今回は基本用土の説明をします。

よく使われる基本の用土

- ① 黒土(くろつち)…関東地方に広く分布する火山灰土(関東ローム)の表層土で、黒ボク土ともいわれます。有機物を多く含む軽くて軟らかい土で、保水性、保肥性は良いものの、通気性、排水性はよくないので、腐葉土などをたっぷり混ぜて使います。火山灰土の特質で、磷酸分を吸着して離しにくいため、肥料としてリン酸を多く施す必要があります。北海道では黒土(黒ボク土)と呼ばれる排水の良い火山灰土壤が分布し、札幌近郊では早来町や由仁町の樽前系の粗粒火山灰土壤が代表的です。
- ② 赤土(あかつち)…関東ロームで黒土の下層、鹿沼土の上層にあります。有機質を含まない粘質の火山灰土で、弱酸性です。通気性に欠けるほか、リン酸分については、黒土と同じ欠点があります。赤土を大、中、小の粒径にふるい分けたものが赤玉土です。
- ③ 田土(たつち)…荒木田土ともいい、水田の下層土や河川の堆積土です。重くて保水性、保肥性があるので、植物がしっかり育ちます。通気性が悪く、単用すると固まりがちです。キクなどの鉢植えや花壇苗用に使います。
- ④ 鹿沼土…栃木県鹿沼地方に産し、関東ロームで黒土、赤土の下層にあります。有機質をほとんど含まない酸性土で、みじんを抜いたものは通気性、保水性ともに高いことが特徴で、サツキの用土として広く普及しています。
- ⑤ 火山礫…さいせき火山碎屑物の一種で直径2~64mmの溶岩などの破片を、大、中、小の粒径にふるいわけています。
- ⑥ 水ゴケ…湿原の水ゴケを乾燥させたもの。保水性が格別に高いのが特徴です。軽くて適度な通気性があり、よく乾燥させたものはほぼ無菌で、肥料分は含まれていませんが保肥性にも富んでいます。

7月～8月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
おいしいイチゴ栽培	7月13日(水)	13:30～	6/11(土)～	無料
竹垣を作ろう！	7月16日(土)	10:00～	7/12(火)～	材料費実費
洋ランの夏の栽培方法	7月23日(土)	13:30～	〃	無料
展示会				
あけび・籐作品展-自然からの贈り物-	7月5日(火)～7月10日(日)		あけびつる工房らせん	入場無料
スイレン小展示	8月2日(火)～8月7日(日)			〃
クラフト教室				
現代押し花アート体験講習会 「花のコースター5個セット」	7月20日(水)	10:00～	7/12(火)～	1,000円
あけび工房「ブナの実とあけびの ハンギングバスケット」	7月27日(水)	10:00～	〃	2,000円
子供イベント				
夏休み ネイチャークラフトフェスティバル	7月28日(木) ・29日(金)	10:00～ 15:00	当日受付	100円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・観察会				
百合が原園内ツアー	6月18日(土)	13:30～	7/12(火)～	130円
展示会				
ユリ展	7月1日(木)～7月18日(月祝)			温室入館料130円
アサガオ展	7月26日(火)～8月14日(日)			〃
子供向け講座				
植物でオモチャづくり	7月31日(日)	10:30～	7/12(火)～	300円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

講習会	内容	日	時間	申込開始	費用・備考
庭木の手入れ④クロマツ・アカマツの整枝剪定		7月24日(日)	10:00～	7/12(火)～	300円
			13:30～	〃	〃
庭木の手入れ⑤常緑樹を小さくする		7月31日(日)	10:00～	〃	〃
			13:30～	〃	〃

夏休みスペシャルイベント！

豊平公園緑のセンター 811-6568
ネイチャークラフトフェスティバル

7月28日(木)・29日(金)

10:00～15:00

参加費：100円 直接会場へ

西岡公園 582-0050

「忍者修行～西岡公園の巻」

7月23日(土) 13:00～15:00 参加費：50円

「昆虫探検隊」

7月28日(木) 13:30～20:00 参加費：50円

☆どちらも事前申し込みが必要です。 (7/8～)

お申込み・詳細等は各公園管理事務所へ
お問い合わせください。

川下公園 879-5311

サマーフェスティバル

7月23日(土)・24日(日)

10:00～15:00

遊びによりそれぞれ有料です。

滝野すずらん丘陵公園

592-2222

ラベンダーフェスタ

7月2日(土)～24日(日)

7月17日(土)・18日(日) 10:00～ ラベンダー摘み取り体験
他にもハーブを使ったイベントや花を楽しむツアーなど開催！

アシリベツの滝ライトアップ&滝野の夜祭り

8月5日(金)・6日(土)・7日(日) 18:00～21:00

☆駐車料金別途かかります。また、エリアにより入園料が必要です。